



鬼怒川小
学校だより
平成27年6月19日

鬼怒川小の松風

【学校教育目標】
自分から本気で学ぶ子
心豊かで思いやりのある子
元気で最後までやりぬく子

－ 梅雨に思う －

梅雨の季節です。この時季は子どもたちにとって「外で遊べない。雨で服や靴がびしょめれになる。」など不評です。やはり、子どもたちは太陽のもと、元気に遊び回る姿がよく似合います。

他に「洗濯物が乾かない」「食べ物が傷む」など、マイナスイメージが多い梅雨ですが、「植物にとって大切な水が得られる。」「山やダムに水が蓄えられる。」「川の水かさが増え、森の豊かな栄養分が海へと運ばれ、豊かな海となる。」といった役割があります。こうして考えると、なんとなくいやな感じのする梅雨も、大切なものだということが分かります。

植物の生長にとって、雨ばかり降っていると根が腐ってしまいます。逆に晴ればかりだと、枯れてしまいます。このように植物がしっかり育っていくためには、雨や晴れのように全く反対のものがが必要です。

子どもたちの心の成長に当てはめてみると、それは「やさしさ」と「きびしさ」になるのではないかと思います。「やさしさ」だけでは、甘えが出たり、わがママが出たりします。「きびしさ」だけでも、気持ちやすさんだり、いじけたりするなどよい心は育ちません。

その場や状況に応じながら、「やさしさ」と「きびしさ」のバランスをとりながら、子どもたちに接していくことが大切だと思います。

鬼怒っ子ふれあい活動

6月17日(水)、児童の祖父母など地域の方々24名を本校にお迎えして、「県民の日鬼怒っ子ふれあい活動」を実施しました。

歓迎のセレモニー、吹奏楽部による演奏を披露したあと、「ベーゴマ、あやとり・折り紙、お手玉・けん玉、百人一首、おはじき、将棋、竹とんぼ、ビー玉落とし」の計8カ所に分かれて交流を行いました。昔ながらの遊びの楽しみ方やコツなどを教えていただきながら、楽しく交流を深めることができました。活動後は、3、4年生とふれあい給食を行い、いろいろな話題に花が咲いていました。

この「ふれあい活動」は、地域の方々に学校や子どもたちの様子を直に感じていただく貴重な機会だととらえています。子どもたちにとっても、地域の方々から、多大な協力・支援をいただいていることを知り、感謝の気持ちを育む上でも有意義な交流の機会です。

また、縦割り班で活動することで、上学年児童のリーダー性を育成し、下学年児童は活動を通して、上級生の思いやりややさしさを学ぶことができます。これからも大切にしていきたい活動だと考えております。保護者・地域の皆様、今後とも御協力の程よろしくお願いたします。



鬼怒小地域教育協議会

鬼怒川小学校では、今年度から学校と保護者はもとより、さらに地域や関係機関等との連携を深め、地域に開かれた学校づくりを推進していくために「地域教育協議会」を設立いたしました。

「子どもたちを地域ぐるみで育てていくこと」「児童数・PTA会員数の減少に伴い活動が停滞しないようにしていくこと」などを主な目的として設置されたものです。

地域の皆様方にも、これから実施予定の「秋季大運動会」「学習発表会」等の学校行事やPTA学校環境整備等の機会に、是非御来校いただき、学校や子どもたちの様子を見ていただければと考えております。近くなりましたら、御案内させていただきますので、何卒御理解と御協力の程、よろしくお願いたします。



PTA危険箇所点検

6月7日(日)の午前中、PTAによる学区内の危険箇所点検を実施しました。「上滝、滝見通り」「つつじヶ丘、温泉駅」「藤原、小原、星ヶ丘」「川治」の4班に分かれ、主に通学路、公園、公衆トイレ、神社、水路や遊歩道、土手などを点検しました。普段、何気なく通っている道や場所でも、改めてみると「危険が潜んでいるのでは」と感じられる場所もありました。

家の周りや通学路の状況は、時間や季節によっても変わります。是非この機会に、御家庭でも話し合う機会をもってみてください。注意するのは、このような場所です。



- ・ 入りやすい場所、見えにくい場所
- ・ 高く、長い塀が続く道
- ・ 路上駐車が多い道
- ・ 落書きやゴミが散乱している所
- ・ 整理されていない駐車場
- ・ ぼろぼろになった空き家
- ・ 街灯が少なく暗い道
- ・ 雑草や木が生い茂って見通しの悪い

これから点検した結果については、児童・保護者に周知するとともに、行政関係への要望等を整理していく予定です。保護者、地域の皆様には、今後とも子どもたちの安全・安心のため、危険箇所等でお気づきの点や見守り活動に関しまして、御協力をお願いいたします。



〔7月の予定〕

1日(水)水泳学習スタート
14日(火)5年生親子学習
15日(水)日光検定(3年生)
17日(金)第1学期終業式

〔8月の予定〕

25日(火)第2学期始業式
PTA合同会議、奉仕作業
家庭教育学級
17日(木)夏休み作品展(~9/7まで)



『『暗い』のではなく『優しい』のだ。『のろま』ではなく、『ていねい』なのだ。

『失敗ばかり』でなく、『たくさんチャレンジしている』のだ。』

アドラーという心理学者に言葉です。同じものを見ていても、見方を変えれば価値が変わります。「短所が長所、デメリットがメリットにもなる」ということだと思えます。子どもたち一人一人の個性を生かし、伸ばしていく上で大切な視点だと思えます。

地域安全マップとは、注意が必要な場所や危険な場所に印を付けたり絵を描いたりして、いつも遊びに行く場所や通学路に注意すべき場所がないか確認するための地図です。

子どもたちが自ら地図を描き、いつも「危ない」「怪しい」と思っていることを形にさせることで、地域に潜む危険を再認識させることができます。

また、学校や保護者の方々も子どもたちの通学路や遊び場を把握することができ、効率的なパトロールなどが可能となります。

地域安全マップを作成してみましょう！

安全マップにはこんな情報を載せてみましょう！

【載せる情報の例】

- (1) 事件や事故が起きそうなところ
 - ・過去に事件や事故が起きた場所と似るところ
 - 公園 ……など
- (2) 「ヒヤリ」としたところ
- (3) 何かあったら助けを求められるところ
 - ・警察署、交番 ・子ども110番の家 ・学校、
 - ・お店やガソリンスタンド、病院など



